

県民の暮らしを破壊する

## TPP 参加に関する緊急公開質問状

2013 年 3 月 1 日

森田 健作 様

農民運動千葉県連合会

会長 大木 傳一郎

千葉県八街市八街は 18

千葉県農産物の千産千消の推進、食の安全確保、医療・健康に対するご尽力に敬意を表します。

千葉県農業の農業産出額は、平成 19 年全国第 2 位でしたが平成 23 年には 4 位に後退しています。

農林水産予算も県予算全体の 2.7%、金額で 425 億円で(H23)、お隣の茨城の 9%、500 億円と大差がついており、千葉県の農業予算は縮減傾向にあります。

そんな中、日米首脳会談で安倍首相は TPP 参加の意向を表明しました。TPP に参加したら千葉県農業は壊滅的な打撃を受けることは明白です。

この緊急事態にあたって県知事の果たす役割は極めて重大であります。

よって、以下の項目について森田健作知事候補に所信、見解を求め緊急に公開質問を致します、ご回答をよろしくお願い致します。

一、 森田知事は県が試算した TPP 参加の場合の千葉県農業への影響調査

《県の農業産出額が 1380 億円も減少・米は 774 億円から 47 億に、県産米は 10%、価格は 39%低下し稲作は壊滅的・畜産は 1053 億から 435 億に減少、豚肉は 7 割減少、乳牛は消滅》が示す、千葉農業の衰退について深く認識しておられるでしょうか。

二、 県議会は 2 度 TPP 反対を決議し、県下の 46 市町村議会、全国の 9 割以上の地方議会が反対もしくは慎重な対応を求める意見書を採択しています。また JA など県内農業団体もこぞって断固反対していま

す。北海道知事や多くの全国知事が反対の意思を明らかにするなか、森田知事はなぜ県民の意思に反し、反対の態度を表明できないのでしょうか。

三、昨年 12 月の総選挙に於いて、政権を担う自民・公明党は選挙で 6 項目の判断基準を示し、「ウソはつかない、TPP 断固反対、ブレない」と公約し当選しています。しかし日米首脳会談で安倍首相は、TPP 交渉に参加する意向を表明しました。明らかな公約違反だと思いますが森田知事はどのように判断しますか。

四、日米首脳会談の共同声明は、「(米を含め 840 品目)すべての物品が交渉の対象とされる」「包括的で高い水準の協定を達成していく(関税と非関税障壁を撤廃する)輪郭(アウトライン)」を確認しました、「聖域なき関税撤廃」は無くなったという事はごまかしです。6 項目公約確保の保証については何の言及もありません、これは国民にウソをつき、欺くものだと思いますが森田知事の見解をお聞かせください。

五、JA をはじめ県内農業団体、農業委員会、地方議会の反発が高まっています。県民のトップリーダーとして千葉県農業の衰退防止のため、政府関係機関に「公約の厳守、TPP 交渉に参加しないよう」意見を提出することが県知事として責務だと思います。意見の提出の意志はお有りでしょうか。

以上、千葉県農業の危機に直面しての緊急公開質問状を提出いたします。  
ご回答は 3 月 6 日(水)迄によろしくお願い致します。

ご回答先—農民運動千葉県連合会

電話 043-443-9260

FAX 043-443-9261

E メール chiba-nm@trust.ocn.ne.jp